

出荷管理装置を導入 広域協組設立視野に

高知生コン 協組連

で安芸が1万6100円、四万十が1万5300円、須崎が1万5000円なのに対し、高知市内は9000円と陥没している。

高知県では中心エリアである高知市内の市況を立て直しが喫緊の課題となっている。現在、県内の市況は21・8・40B B

6年前、高知市内の生コン業界は混乱し、1万3300円あった市況は一気に半値以下の6000円まで下落した。翌年8000円に回復したものの、この低価格は約4年間続き、ようやく昨年3月に9000円になった。一方、高知市同様

この内協組未加入社を除き、昨年度から協組連を窓口し、高知県建設協同組合との間で公共土木物件に関して共同購買契約を結び、共販を再構築している。今年4月から過去4年間の実績を基にシエラを決め、民間物件も含めた全物件での共販を目指している。

高知県中部生コンクリート協同組合(嶋崎勝昭理事長、10社10工場)は須崎市、吾川郡、高岡郡を営業エリアとし、主に公共工事を中心として、1979年から共

現在の需要状況は、県の発注の須崎市の高校新築工事、仁淀川町の庁舎新築工事、道路関連では国

ただ、「組合員は、工場の数が過剰なことは理解し、集約化にも総論賛成守りたい」。

だが、具体的な話には進んでいない。須崎地区でも2工場を減らしたい(嶋崎理事長)。

今後の課題としては需要の見合った適正価格の設定が必要だ。「需要が先細る中で、もう一段の値上げが必要だ。10000円の値上げを打ち出したいが、高知市と隣接している。高知市の市況の回復を見守りたい」。

需要減で集約化検討 適正価格の設定必要

部組 中協 知生 高生

ことから、現在、高知市が全国の県庁所在地での最低価格となっている。この状況を打開すべく、地区本部長、高知工組

協組連では、共販体制を確立するために各社の信頼関係と秩序が不可欠とし、その手段として生産量管理装置(ハカルプラス製BPSV10)を8月から導入した。

協組連が全量管理しており、各協組に割り当てられた数字と乖離があれば協組連が数量で調整させる。現在の生コン価格のままで経営環境は厳しい。来年1月には積算資

「昨年は碎石価格が上がり今年10月からは海砂も200円/m程度の値上げを打診してきている。現在の生コン価格のままで経営環境は厳しい。来年1月には積算資

協組連では、共販体制を確立するために各社の信頼関係と秩序が不可欠とし、その手段として生産量管理装置(ハカルプラス製BPSV10)を8月から導入した。

協組連では、共販体制を確立するために各社の信頼関係と秩序が不可欠とし、その手段として生産量管理装置(ハカルプラス製BPSV10)を8月から導入した。

愛媛県生コンクリート工業組合 愛媛県生コンクリート協同組合連合会

理事長 花井秀裕
会長

- | | | |
|-----------------|-----|------|
| 東予広域生コンクリート協同組合 | 理事長 | 飛鷹康志 |
| 東伊予生コン協同組合 | 理事長 | 門脇正弘 |
| 越智諸島生コンクリート協同組合 | 理事長 | 馬越卓也 |
| 中予生コンクリート協同組合 | 理事長 | 花井秀裕 |
| 南予生コンクリート協同組合 | 理事長 | 岩本渉 |

高知県生コンクリート工業組合 高知県生コンクリート協同組合連合会

- | | |
|------|------|
| 理事長 | 山中伯男 |
| 副理事長 | 北岡守 |
| 副理事長 | 田邊 |

協同組合

裕